

市議会だより

12月1日～12月21日
平成22年第4回定例会
1月28日
平成23年第1回臨時会

教育振興基金で

子どもたちに明るい未来を!

平成22年第4回定例会は12月1日から21日までの会期で開催され、「東久留米市教育振興基金条例」、21年度各会計決算の認定など、市長提出議案22件、議員提出議案(意見書・決議案を含む)16件、請願23件を審議しました。また、平成23年第1回臨時会が1月28日に開催され、22年度一般会計補正予算について審議しました。結果は4面をご覧ください。

指定管理者の指定について

5議案を可決

指定管理者の指定について5議案(議案名は4面を参照)は、市の公の施設の指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。各議案は所管の常任委員会の審査を経て、12月21日の本会議においてそれぞれ賛成多数で可決されました。指定管理の期間は、いずれも平成23年4月1日から28年3月31日までの5カ年。

【総務委員会の審査より】
●議案第71号(西部・南部・東部の各地域センター、滝山・ひばりが丘・大門の各地区センター、市民プラザ)
選定経過:東久留米市の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例(以下「条例」)第2条の規定に基づき、

選定経過:東久留米市の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例(以下「条例」)第2条の規定に基づき、
●議案第74号(浅間町・野火止・八幡町・南町・中央町の各地区センター)
選定経過:条例第2条に基づき公募、応募は1団体

選定経過:東久留米市の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例(以下「条例」)第2条の規定に基づき、
●議案第76号(市立こどもセンターひばり、けやき・滝山の各児童館)
選定経過:条例第2条に基づき公募、応募は4団体

選定経過:東久留米市の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例(以下「条例」)第2条の規定に基づき、
●議案第77号(スポーツセンター)
選定経過:条例第2条に基づき公募、応募は2団体

選定経過:東久留米市の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例(以下「条例」)第2条の規定に基づき、
●議案第78号(共同事業体東京ドームグループ)
選定経過:条例第2条に基づき公募、応募は1団体

選定経過:東久留米市の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例(以下「条例」)第2条の規定に基づき、
●議案第79号(社会福祉法人東久留米市社会福祉協議会)
選定経過:条例第2条に基づき公募、応募は1団体



平成23年元旦の富士山(東久留米駅西口富士見テラスより)

市長陳謝

定例会最終日の12月21日の本会議冒頭に、市長から陳謝の発言がありました。発言の全文は次の通りです。

このたび、一部マスコミにおける私の教育振興基金に関するインタビュー記事に関し、市長の発言が十分な配慮を欠いていたことにより、市議会

子どもセンターひばりは指定期間満了に伴う指定、けやき・滝山の各児童館は新たに指定対象となる施設指定管理者:特定非営利活動法人ワーカーズコープ

【質問】3館一括で指定管理者を指定することについて市の考え方は。
【質問】3館一括で指定管理者を指定することについて市の考え方は。

【質問】現在、直営児童館4館を正規職員7人と嘱託・臨時職員で運営しているが、来年度に1人退職することから児童館運営に支障が生じる懸念があり、管理体制を考慮して新たに2児童館を指定管理施設に加えた。また、ひばりの利用者が多く、日曜日と祝日の開館も必要との意見もあり、受託事業者にとっても1館より2館・3館のほうが経費の面で有利ではないかとの考えで導入に至った。

【文教委員会の審査より】
●議案第77号(スポーツセンター)
選定経過:条例第2条に基づき公募、応募は2団体

【質問】選定において、もう1団体との評価の差は何か。
【質問】選定において、もう1団体との評価の差は何か。

【質問】選定において、もう1団体との評価の差は何か。
【質問】選定において、もう1団体との評価の差は何か。

平成21年度決算を認定

平成21年度一般会計および5特別会計歳入歳出決算は、10月4日～6日の決算特別委員会で審査され、一般会計と国民健康保険・後期高齢者医療の2特別会計は賛成多数で、老人保健・介護保険・下水道事業の3特別会計は全員賛成で認定すべきものと決しました。

また、12月1日の本会議では、賛成多数で全会計決算が認定されました。一般会計決算についての質疑は次の通りです。

【総括質疑より】
【質問】平成21年度決算で約12億円の剰余金が生み出されたが、①理由は何か、②一部を市民に還元する考えは。
市長 ①約8億1300万円の財政調整基金取り崩し、約14億7千万円の臨時財政

【質問】市に入ってくる収入だけで財政運営できるような体質への改善方法は。
市長 歳入に合った歳出構造とすることが必要で、まずは、行財政改革の推進、国・東京都の補助制度の活用、安定した税収の確保、民間活力の活用を図るなどの必要性があると考えています。

【質問】市に入ってくる収入だけで財政運営できるような体質への改善方法は。
市長 歳入に合った歳出構造とすることが必要で、まずは、行財政改革の推進、国・東京都の補助制度の活用、安定した税収の確保、民間活力の活用を図るなどの必要性があると考えています。

再提出の教育振興基金条例 全員賛成で可決

「東久留米市教育振興基金条例」は12月13日の総務委員会で審査され、21日の本会議において、全員賛成で可決されました。

本案は、新たに学校教育施設等の整備を促進し、学校教育の振興を図ることを目的とする基金を創設し、その運用を図るため、地方自治法の規定に基づき条例を制定するもの。

平成22年第3回市議会定例会に市長が提案し、撤回している。
【委員会の質疑より】
【質問】校舎の老朽化に伴う建て替えの年次計画は。
【質問】校舎の老朽化に伴う建て替えの年次計画は。

【質問】校舎の老朽化に伴う建て替えの年次計画は。
【質問】校舎の老朽化に伴う建て替えの年次計画は。

浸透枳普及推進の取り組みは。
【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。

【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。
【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。

【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。
【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。

【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。
【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。

【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。
【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。

【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。
【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。

【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。
【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。

【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。
【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。

【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。
【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。

【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。
【質問】浸透枳普及推進の取り組みは。

一般質問	2・3面
22年度一般会計補正予算を可決	4面
議案・請願審議結果、意見書など	4面

臨時会を開催

平成22年度東久留米市一般会計補正予算(第5号)は1月28日の第1回臨時会で審議され、賛成多数で可決されました。

本補正予算は、国の地域活性化交付金の創設を受け、緊急経済対策という趣旨を踏まえて行つたもので、歳入歳出それぞれ6199万7千円を追加し、予算総額は

本補正予算は、国の地域活性化交付金の創設を受け、緊急経済対策という趣旨を踏まえて行つたもので、歳入歳出それぞれ6199万7千円を追加し、予算総額は